

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2021年11月24日(水) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OE146	β-アミロイド 1-42/1-40比	髄液 2.5	XR5 (L6)	冷蔵 (15日)	3~9		CLEIA	0.067以上 (カットオフ値)	重 下記参照 &J

- 本検査は認知症の診断に関連する十分な知識及び経験を有する医師が、検査の原理及び結果の解釈を十分に理解した上で、関連学会等の適正使用指針に従って使用してください。
- 「OE185 リン酸化タウ」以外との重複依頼は避けてください。
- 指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器(XR5)で提出してください。
- 指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量(2.5mL)にて提出してください。
- 検体の取扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。



● β -アミロイド1-42/1-40比

脳内アミロイド β の蓄積状態把握の補助に有用です

β -アミロイドは脳内で生成され、アルツハイマー型認知症の脳組織学的特徴とされる老人斑の大部分を占める物質と考えられております。脳脊髄液中の β -アミロイド1-42はアルツハイマー型認知症で低下することが知られており、脳脊髄液中の β -アミロイド1-42と β -アミロイド1-40の比がアミロイドPET検査によるアミロイド蓄積量と強い相関を示すことから、脳脊髄液中の β -アミロイド1-42/1-40比は、脳内アミロイド β の蓄積状態を把握するバイオマーカーとして有用です。

▼検査要項

検査項目名	β -アミロイド1-42/1-40比
項目コード	親：OE14 6 β -アミロイド1-42/1-40比 子：OE15 3 β -アミロイド1-42 子：OE16 1 β -アミロイド1-40 子：OE17 8 β -アミロイド1-42/1-40比
検体量	髄液 2.5 mL
容器	XR5 (L6) CSF容器
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~9 日
検査方法	CLEIA
基準値	0.067以上 (カットオフ値)
報告範囲 (単位)	β -アミロイド1-42 : 9未満、9~23340、23350以上 (pg/mL) β -アミロイド1-40 : 5未満、5~599990、600000以上 (pg /mL) β -アミロイド1-42/1-40比 : 0.000~4670
桁数	β -アミロイド1-42 : 有効4桁、整数5桁、小数0桁 β -アミロイド1-40 : 有効5桁、整数6桁、小数0桁 β -アミロイド1-42/1-40比 : 有効3桁、整数4桁、小数3桁
検査実施料	
判断料	
備考	<p>重</p> <p>本検査は認知症の診断に関連する十分な知識及び経験を有する医師が、検査の原理及び結果の解釈を十分に理解した上で、関連学会等の適正使用指針に従って使用してください。</p> <p>「OE185 リン酸化タウ」以外との重複依頼は避けてください。</p> <p>指定外の容器で提出された場合は、データ低下の恐れがありますので、必ず指定容器 (XR5) で提出してください。</p> <p>指定の検体量より少ない場合は、データへ影響を及ぼす可能性がありますので、必ず所定の量 (2.5mL) にて提出してください。</p> <p>検体の取扱い上、クロイツフェルト・ヤコブ病を疑う患者検体の場合は、受託できません。</p>

&3



●参考文献

- Maria Jo ão Leit ão, et al : Alzheimers Res Ther 11 (1) : 91, 2019.
(検査方法参考文献)
- Alcolea D, et al. Ann Clin Transl Neurol 6 (9) : 1815-1824, 2019.
(臨床的意義参考文献)